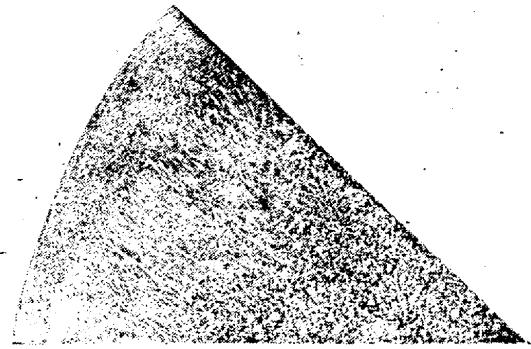
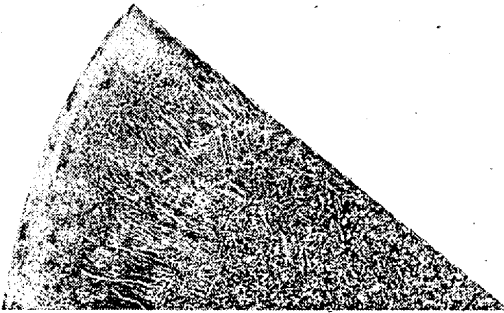


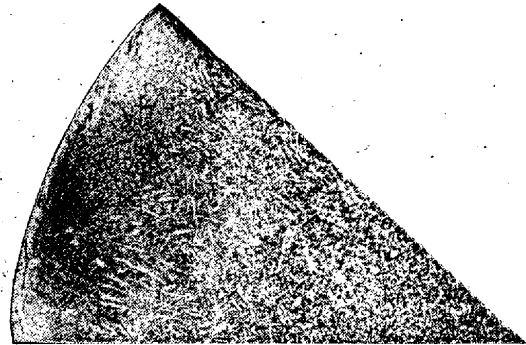
圓盤 9



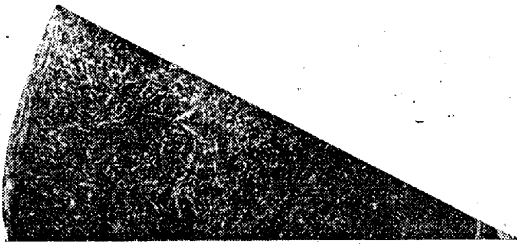
圓盤 10



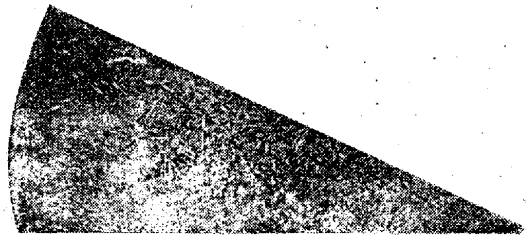
圓盤 11



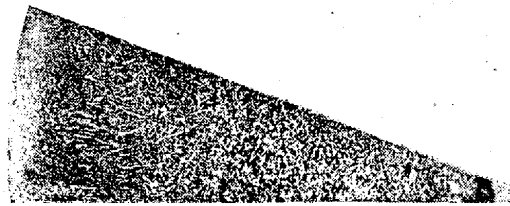
圓盤 12



圓盤 13



圓盤 14



圓盤 15

圖表 11 ドルン無しの壓延を途中で停めた試験鋼塊のマクロ組織
圓盤 9~15 (第 47 圖參照)

第 6 でこの變形過程は逆になり、第 10 で針狀晶の内部の方が鋼塊壁に直角になる。外壁に近い部分は變形を受けず、もとの形を保

持して居り、これは明かに鋼塊が水冷されて、ロールと材料の接觸部に於て材料の塑性が減少した事に原因するものである。

長野縣宮川村に産する合水ニッケル珪酸鹽鐵物 (I) 理研彙報第 22 卷 4 號 中平 光 與
産狀は粘土中の岩塊にあるもの、粘土中を細脈となつて走るの二種ありて、顯微鏡的には spherulitic structure であり、化學成分は第 1 表の通りである。X 線粉末寫眞の結果ガーニエライトなる事が判明した(ニウカレドニア産との比較により)

第 1 表		第 1 表	
成分	含有率	成分	含有率
SiO ₂	48.28	MgO	15.38
Fe ₂ O ₃ +Al ₂ O ₃	1.71	H ₂ O+	5.42
NiO	23.42	H ₂ O-	5.61